



オンライントークイベントシリーズ
質の高いオンライン授業に向けて
～ 春学期の授業実施を踏まえて～

第2回

「オンライン授業に適したインフラやシステム」

2020年8月21日

株式会社デジタル・ナレッジ 管理本部 本部長
兼 文教ソリューション事業部 事業部長 / 学習分析学会

中嶋竜一



デジタル・ナレッジのご紹介

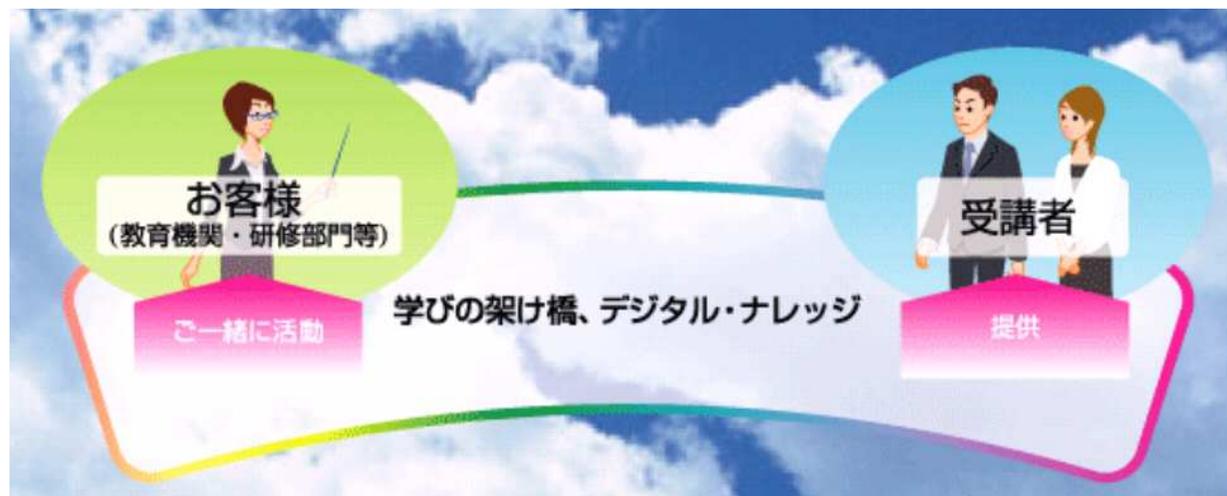
株式会社デジタル・ナレッジ

設立 : 1995年12月20日

代表者 : 代表取締役社長 埴(はが) 弘明 / 代表取締役COO 吉田 自由児

本社 : 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

そのほかの拠点: 西日本支社(大阪・肥後橋)、九州支店(福岡)
海外: キルギス、ウズベキスタン



デジタル・ナレッジのご紹介

デジタル・ナレッジは、設立以来25年間「eラーニングのみ」に取り組んでいます。



7つの「ワンストップメニュー」
eラーニングを実現するために必要な全てのメニューを揃えています。



最近の取り組みのご紹介



JAPAN DIGITAL UNIVERSITY

デジタル・ナレッジは、ウズベキスタン国と日本との
学びの架け橋となる Japan Digital University (JDU)
をプロデュースしています。



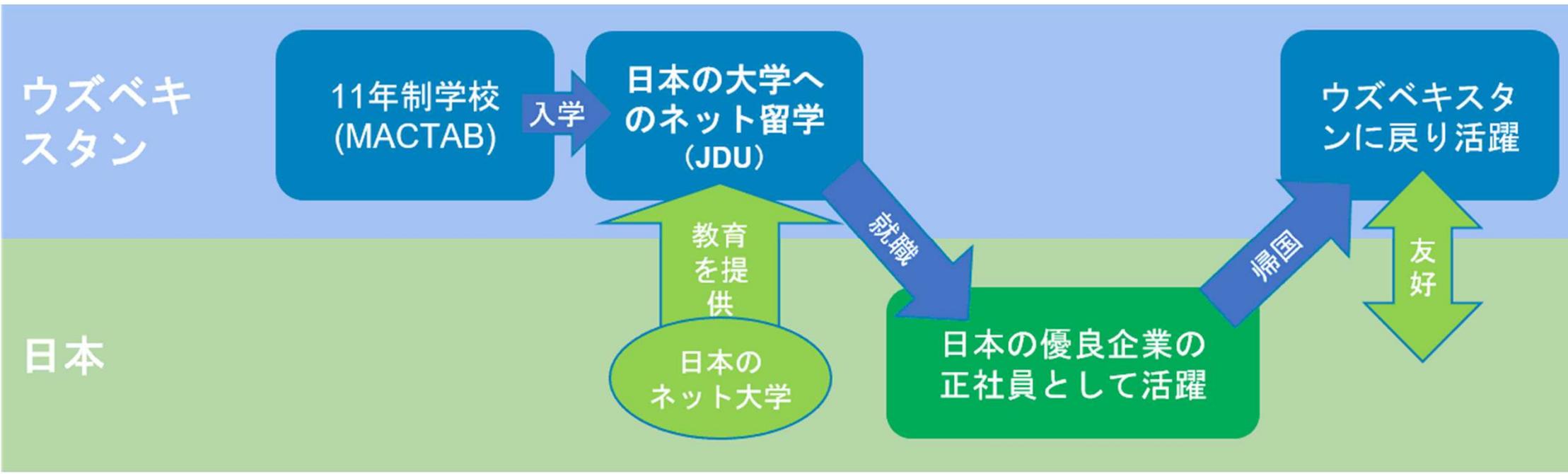


最近の取り組みのご紹介



JAPAN DIGITAL UNIVERSITY

ウズベキスタンにしながら日本のオンライン大学へ留学でき、日本の優良企業就職もサポートする民間のサテライトキャンパスです。
(協力をしてくださる通信制大学様を募集しています)



本日の本題 今のニーズにお応えするため3月26日にリリースしました

【プレスリリース】明日からできる『大学の遠隔授業化支援パック』の提供を開始

～大学、専門学校をはじめとする高等教育機関を対象に授業の遠隔化をサポート～

📅 2020.03.26

👍 いいね! 6

🐦 ツイート

BI 0

導入実績1500超を誇るeラーニングテクノロジー企業、株式会社デジタル・ナレッジ(本社：東京都台東区、代表取締役社長：はが弘明)は、大学、専門学校をはじめとする高等教育機関を対象に明日からできる『大学の遠隔授業化支援パック』の提供を開始いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大により、世界中、各所に様々な影響を及ぼしています。大学では4月から予定していた新学期の授業を延期している学校が多く、今後の状況によってはさらに授業が延期される可能性もあります。また、文部科学省は3月24日に国公立大学に向けて『令和2年度における大学等の授業の開始等について』お知らせを発表しました。記載の中には「感染リスクを低減する観点から、面接授業の一部を遠隔授業で行うことが考えられる」と通知されています。

参考：令和2年度における大学等の授業の開始等について(通知)

高等教育機関様の はじめてのLMS を支援

今のニーズにお応えするため 3月26日にプレスリリース発表

『大学の遠隔授業化支援パック』について

eラーニングシステム「ナレッジデリ」を活用し、教材の作成から学習履歴の確認までを行うことができます。教材の作成、管理、更新、配信、閲覧状況の確認、集計などを全てWebブラウザから簡単に行えます。ホスティングサービス（ASP）のため導入も手間いらず、専門知識も必要ありません。

参考：ナレッジデリ



●主な内容

◇『遠隔授業はじめかたマニュアル』付き

本支援パックには『遠隔授業はじめかたマニュアル』が付いております。

マニュアルでは、短期間で効率的に遠隔授業化を実施するための進め方、準備するものや、遠隔授業に必要な教科書設計、授業の教材製作、授業の配信、授業の管理について項目ごとに細かく記載しております。eラーニング専門企業として培ってきたノウハウを活かし、分かりやすくご説明しております。

短期間に実現するため

パッケージASPサービス
「ナレッジデリ」
(実績のある こなれたLMS)

+

「遠隔授業はじめかた
マニュアル」
(ノウハウ+運用支援)

をご提供

「遠隔授業はじめかたマニュアル」 (ノウハウ+運用支援) 抜粋

2 教材作成の流れ

授業設計

- ・シラバスの作成
- ・レジュメの作成
- ・成績評価の設定

素材の準備

- ・PowerPoint資料の準備
- ・新規作成する教材の整理

著作権処理の作業

- ・著作物使用許諾の申請

教材画面および補助教材の作成

- ・既存のPowerPoint資料配布資料の整形
- ・新規に作成する資料映補助教材の作成

・学校様の教室または各教員の研究室・自宅で収録

3 教材制作ルール

■基本テンプレート

▼見出し

タイトル
講師名

▼本文

大見出し
中見出し
小見出し

優先度
高
中
低

オブジェクト

▼フォント

▼書体

和文 コシジック体(明暗体は一部の線が細く見づらい為)
英文 「Franklin Gothic」
強調 「HGS新英角ゴシックURU」「HGP新英角ゴシックURU」

▼テキスト

サイズ
タイトル 44～36pt
大見出し 40～34pt
中見出し 38～32pt
テキスト 30～28pt

▼行間、段組

行間 120～150%
段組 文章は1文1行を原則、2行

▼カラー

見出しは色を統一し、色を使用します。テキストは基本的に黒色で統一します。

▼アニメーション

・使用する(ボタンは少なめにします。)
(多様すると雑然とする恐れがある為)

・アニメーションサウンドは使用を控えてください

事前準備

授業設計

いただいたレジュメや教材制作対面調査をもとに授業開発センターの担当者にて、各授業回の授業項目(単元)を洗い出します。

●教材制作対面調査

| 教材制作対面調査B(担当:吉田洋) | 記録日:2011/3/30 |
|-------------------|--|
| 今回のテーマ | 第4回 |
| 詳細(分割テーマ・単元) | 小テーマ |
| 1 | タイトル内容 |
| 2 | 心理とは |
| 3 | 心理とは |
| 4 | 心理とは |
| 5 | 心理とは |
| 6 | 心理とは |
| 7 | 心理とは |
| 8 | 心理とは |
| 9 | 心理とは |
| 10 | 心理とは |
| 今回の達成目標 | 心理学の基礎を理解する |
| 今回の授業形式 | 講義のみ・映像と検査・検査とワークシート・検査と検査とワークシート・検査と検査とワークシート |
| 授業中の説明・資料の有無 | 有(無) |
| ペーパーによる検査の有無 | 有(無) |
| 白紙印刷の有無 | 有(無) |
| (ホワイトボード) | 有(無) |

●レジュメ

実際に授業で説明している内容、もしくはレジュメの内容から洗い出します。

●単元シート

心理学とは

心理学とは、大別すると2種類になる。

実験心理学

- ・科学的経験主義の立場から観察/実験を推し進める

臨床心理学

- ・精神に不調を来した人々の理解および治療

心理学の対象は、多岐に及んでいる。

心とは、「何か」という解釈・アプローチによって学種は異なり、多岐に及ぶ。

- ・心と脳との関係(神経心理学と認知心理学)
- ・認知心理学、行動分析は実験心理学
- ・人文科学、哲学からアプローチ
- ・人間性心理学は、臨床心理学の中に含まれる

近年では他の学問領域との連携も行っている。

例：心理学では仮説の検証→脳科学の検証できるのではないか

社会で活用されている「心」を理解するカ→心理学の領域

- ・社会・産業心理学領域
- ・企業・研究所など

1 事前の確認事項

■共通項目(教室で収録する場合)

- ・曖昧な表現:
後日撮り直しが必要になる場合がある為、授業中の説明の中に曖昧な箇所がない様お願いします。
- ・服装:
収録の日はストライプのシャツを避けます。

○



×



×



※画面がチラつき、受講生のストレスになる可能性があります。

参考資料 / コンテンツバリエーション例

| コンテンツ種別 | イメージ図 (構成) | 制作コスト 目安 | 内部制作時 工事費用目安 | モバイル向け | 目的・用途 |
|---------------------|---------------|-------------|-----------------------------|--------------------------|--|
| 動画通常収録 | | 中 | 照明・マイクなどの準備は必要 工数:小~大 | 可 (作り方に依る) | 既存の動画の活用も可能 出張収録の発注を前提とした場合はコストがかかる |
| クロマキー合成 | | 中~大 | スタジオ設置が必要 工数:大 | 可 (作り方に依る) | 完成度の高い、目を引くコンテンツの制作が可能。 後編集の工数が大きい。 |
| VR(バーチャルリアリティ)コンテンツ | | 大+ | 専用機材が必要 工数:大 | 可 | 現実では体験できない仮想空間における実習を可能にする。 |
| 電子黒板 | | 中 | 電子黒板・照明が必要 工数:中 | 可 | 既存の動画の活用も可能。 |
| 書画カメラ | | 小~中 | 書画カメラが必要 工数:小 | 可 | 3Dモデルを用いた制作も可能。 |
| 動画・スライド連動型 | | 小~中 | 簡易撮影ならば 工数:小 | 可 | 3Dモデルを用いた制作も可能。 |
| スライド・音声連動型 | | 小 | 特に設備は不要 スマートフォンでも音声収録は可能 | 可 (電車内の動画 広告のイメージ) | 可能 退屈に思わせない工夫が必要 |

2週間で作るには、
逆算して
実現できる事で
進めるしかない。



お客様の反応と、弊社が担当したフォロー



学校を閉鎖しなければならず、急遽オンラインの導入が必要
実習やケースメソッドなど、読み物書き物だけでは伝わらない科目を
どうオンラインで補完がすることができるのか？
やったことがないのでイメージが全くわからない。



【私どもが行ったフォロー】
システムでできることをご説明
学習者の機能と教員・管理者の機能ごとの説明
事前にキーマンとなる関係者とやりとりして、進め方のシナリオを取り決め、教員参加の際は
シャンシャンで終わるよう段取りを進めた（根回しが利いてひとまず導入は成功）



機能としてはあるものの、運用上の負担となりうるものは除外し、
使用する機能とコンテンツパターンをできる限り絞り、テンプレートも準備し、
先生方の役割と、職員の管理する範囲を決定した。
(5月のGW明けには配信したい。というニーズにお応えすることから逆算して進行)

職員・教員・システム担当、三者のいい関係を実現することが鍵

「はじめてのLMS」 進める上でのポイントなど

【コンテンツ制作・LMS設定の進め方】

作成するコンテンツのパターンは、いくつかテンプレートを予め用意し、そのサンプルを雛形に、量産する形で進めた。

教科設定、章単元設定、コンテンツの割当は、全て職員で実施。
教員は教材作成に注力させた

一部、遠隔からサポートしながら、必要ならばZOOMでSMTGをし、画面共有しながら手順や設定方法などを共有し進めた

【学生サポート・運用】

学生へのアナウンスも、環境、接続方法、簡易マニュアルの雛形を共有し、必要な箇所のみをインフォメーションに展開して周知し進めた。

授業開始時は、遠隔からサポートするも、機能を絞って利用されているため、大きなトラブルはなかったが、1~2割程度の学生は外部要因で接続ができないなどのことがあった。
その際はあらかじめ準備しておいた代替策(ルーター貸し出しなども含み)により対応した。

これから向けて (言われ始めていることですが…)

この4月の段階で、他に選択肢がないために、緊急避難的に、

「ひとまず収録した授業 + テスト問題 + レポート」

により授業を配信された学校様にとって、次に求められる事は教育の質の向上。

ひとまずはじめた学校様も、いったん落ち着いたところで、先行かつ実績のある学校のノウハウを把握し取り込み、教員と学生に寄り添った、良い運用を実現していく事が求められている。

〔再掲〕 職員・教員・システム担当、三者のいい関係を実現することが鍵



補足資料

職員・教員・システム担当、三者のいい関係を実現することが鍵

教員 ……できるかぎり教育に専念して頂きたい
教材に向けて時間をかけて頂きたい
学生へのフォローにつとめて頂きたい

職員 ……教員の負担が軽くなるように、学内体制のなかで支えて頂きたい
LMSの設定
学生との事務的な窓口・サポート窓口
リアル授業との連携調整

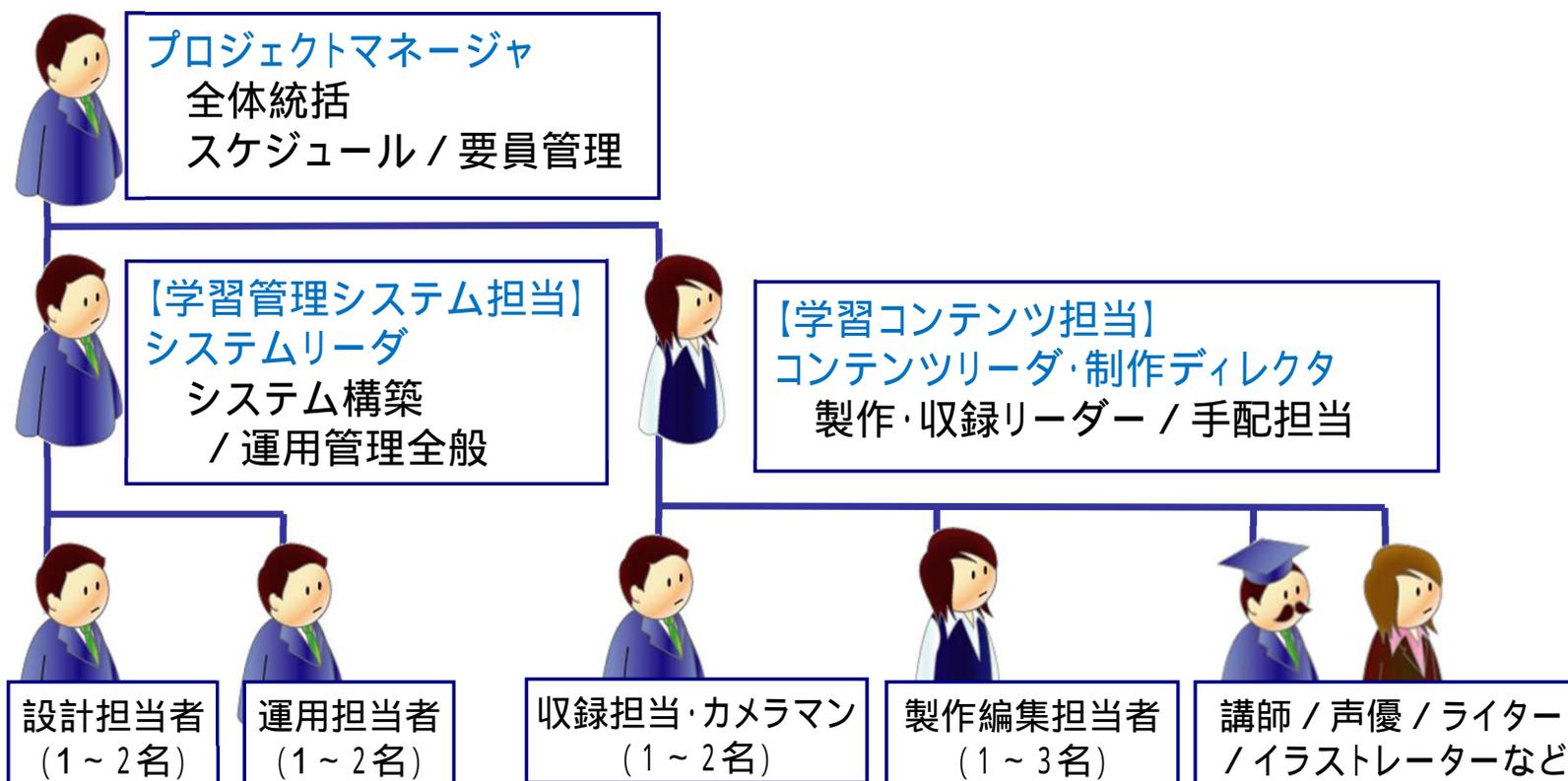
システム担当 ……教員各位・職員各位が、教育に専念できるようにサポート
環境周り、PC・スマホ設定、インフラ設定、各種マニュアル
などを職員各位と協力し対応



補足資料 弊社 月例の「はじめかたセミナー」にて紹介させて頂いているものです。

eラーニングプロジェクト 体制の例

当初は外部メンバーの協力を受けながら進め、
段階的に自社内に体制を整える進め方が現実的です。



ご清聴 ありがとうございます

